

種類別明細書（増加資産・全資産用）の記入例

- ・今回初めて申告する方は、全資産を記入します。
- ・償却資産コード表が送付された方は令和3年中に増加した資産を記入します。

1. 増加資産のある場合（例①、例⑤、例⑥）

2. 資産の一部増加がある場合（例②）

資産の一部増加（資本的支出としての改良費）は、新たに1個の償却資産を取得したものとし、本体部分と分離して申告してください。取得年月は一部増加した年月を記入します。

3. 減少資産のある場合（例⑦）

4. 資産の一部を減少する場合

該当する資産の全てを減少資産用種類別明細書に記入し（例⑧）、減少しない残りの資産を増加資産・全資産用種類別明細書に記入してください。（例③）

5. 申告済の資産に修正がある場合

修正前の資産を減少資産用種類別明細書に記入し（例⑨）、修正後の資産の名称、取得年月、価額、耐用年数を増加資産・全資産用種類別明細書に記入してください。（例④）

あなたの所有者コードを左側から記入します

用紙の枚数（何枚のうちの何枚目か）を記入します

1～6までの数字を記入します

11ページの償却資産とその耐用年数表を参照
1＝構築物、建物附属設備、2＝機械・装置
3＝船舶、4＝航空機、5＝車両・運搬具、
6＝工具器具・備品

所有者名は1枚ごとに記入します

記入の必要はありません

4 年度		種類別明細書（増加資産・全資産用）										所有者名		用紙の枚数	
所有者コード												(株)高崎鉄工所		1枚のうち 1枚目	
行 番 号	資産 コード	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月 年 月	取 得 価 額 十 億 百 万 千 円	耐 用 年 数 (年)	減 価 率 (%)	価 格 十 億 百 万 千 円	課 税 標 準 率 の 特 例 率 コ ー ド	課 税 標 準 額 十 億 百 万 千 円	増 加 事 由 の 記 入 欄	備 考			
例①	012	34 10トンプレス	1	15 3 9	3,000,000	10	0.0				1-2 3-4				
例②	022	35 旋盤改良費	1	15 3 11	500,000	10	0.0				1-2 3-4				
例③	036	3 ロッカー	34	15 4	150,000	6	0.0				1-2 3-4	一部減少			
例④	046	4 いす	204	21 4	200,000	8	0.0				1-2 3-4	耐用年修正 (欄生)			
例⑤	056	5 応接セット	14	16 10	120,000	8	0.0				1-2 3-4				
例⑥	061	36 水質汚濁防止特定施設	15	3 8	7,000,000	18	0.0				1-2 3-4	水質汚濁防止 (欄生)			
小 計					10,970,000						1-2 3-4				

注意「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他いずれかに○印を付けてください。
「年号」は、昭和を3、平成を4、令和を5と数字で記入してください。

個、台等は
省略します

年号は昭和を「3」
平成を「4」令和を
「5」の数字で記入
します

該当するものを○で
囲み必要な事項を記
入します

すでに申告してある資産が償却
資産コード表に種類別に連番で
記載されていますので、増加し
た資産は種類別に資産コード表
の次の番号から記入します
初めて申告する方に「償却資産
コード表」はありませんので、
資産の種類別に1番から連番で
記入します

取得価額と法定耐用年数を記入します
法人税法及び所得税法で認められている
圧縮記帳は地方税法上は認められません
圧縮前の取得価額を記入してください